



2026年9月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月11日

上場会社名 ニシオホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9699 URL <https://nishio-grp.co.jp/>
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）西尾 公志
 問合せ先責任者 （役職名）取締役（管理部門担当） （氏名）四元 一夫 TEL 06(6251)7302
 半期報告書提出予定日 2026年5月13日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年9月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年10月1日～2026年3月31日）

（1）連結経営成績（累計）（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期中間期	107,888	△3.3	10,565	△7.5	10,530	△5.9	6,723	△7.9
2025年9月期中間期	111,543	9.9	11,421	11.1	11,192	12.4	7,297	14.0

（注）包括利益 2026年9月期中間期 8,731百万円（25.3%） 2025年9月期中間期 6,968百万円（3.8%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期中間期	242.17	242.09
2025年9月期中間期	262.85	262.77

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期中間期	317,415	145,360	45.2
2025年9月期	297,261	140,289	46.6

（参考）自己資本 2026年9月期中間期 143,366百万円 2025年9月期 138,523百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	131.00	131.00
2026年9月期	—	0.00	—	—	—
2026年9月期（予想）	—	—	—	132.00	132.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年9月期の連結業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	220,000	2.3	20,000	2.0	19,000	0.9	12,200	0.7	439.44

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年9月期中間期	28,391,464株	2025年9月期	28,391,464株
② 期末自己株式数	2026年9月期中間期	628,264株	2025年9月期	628,968株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2026年9月期中間期	27,762,799株	2025年9月期中間期	27,762,204株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき予測したものであり、リスクや不確定要素が含まれており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。従いまして、当社グループを取り巻く経済情勢、市場動向、競合状況等により実際の業績が記載の金額と大幅に異なる可能性がありますのでご承知おきください。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、第2四半期 (中間期) 決算短信 [添付資料] 3 ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(セグメント情報等の注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2025年10月1日から2026年3月31日)におけるわが国経済は、企業収益は堅調で設備投資も底堅く推移しましたが、米国の関税政策や資源価格の高騰等に加えて、中東情勢の緊迫化に伴う地政学リスクも高まり、不透明感が拭えない状況が続いております。

建設業界においては、建設資材の高騰や作業員不足を背景とした工事の遅れが続くなか、業務の生産性向上や安全性向上のため、ICT・DX施工関連は拡がりを見せております。

このような状況下、当社グループ(当社及び連結子会社)は、中期経営計画“Next Stage 2026”の最終年度に向けて、建設ロジスティクス、仮設のチカラ、建設DX等の重点施策を進めることにより、主力のユーザー層である建設業界・イベント業界の生産性向上に取り組んでおります。

その結果、連結売上高107,888百万円(前年同期比96.7%)、営業利益10,565百万円(同92.5%)、経常利益10,530百万円(同94.1%)、親会社株主に帰属する中間純利益6,723百万円(同92.1%)、EBITDA30,434百万円(同97.1%)となりました。

当連結会計年度は、前年に計上した大阪・関西万博関連特需の反動減や短期的な建設需要の波の影響により、上期は緩やかに推移するものの、下期から中長期的には建築需要に加えてトンネル工事等においても比較的堅調な需要が見込めると予想しておりました。ただし、足元では中東情勢の緊迫化に伴う資材調達の不透明感やインフレによる価格高騰の懸念も出てきております。現時点では当社グループの事業及び連結業績に大きな影響は与えておりませんが、今後の状況を注視し、慎重な事業運営を進めてまいります。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

[レンタル関連事業]

道路・土木関連分野では、鉄道、下水道等のインフラ関連工事は比較的堅調に推移しました。ICT・DX施工関連においては、河川・港湾工事や舗装工事等で自動施工・遠隔施工のニーズへ対応し地元ユーザーの獲得に寄与したほか、遠隔地から作業データを可視化する需要は様々な工種で高まっております。

建築・設備関連分野では、プラント関連工事は概ね計画通りに進んだほか、新規の大型建築工事は下期以降の需要に向けた営業活動に注力しております。

イベント分野では、音楽やゲームイベント等が数多く開催され、ステージ部材や養生材を受注したほか、野球の国際大会では大型中継車や中継カメラ等が売上に大きく貢献しました。また、秋に開催されるアジア競技大会に向けた受注活動を強化しております。

海外分野では、オーストラリア・ベトナムが順調に推移しました。

その結果、大阪・関西万博関連特需の反動減の影響もあり、売上高106,721百万円(前年同期比99.2%)、営業利益10,332百万円(同94.9%)となりました。

[その他]

経営効率向上のため、子会社売却やグループ内再編を実施した影響により、売上高1,166百万円(前年同期比29.5%)、営業損失15百万円(前年同期は306百万円の営業利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末の総資産は、317,415百万円と、対前連結会計年度末比で106.8%、20,153百万円の増加となりました。主な要因は現金及び預金の増加5,144百万円、流動資産・その他に含まれる設備立替金の増加6,438百万円、貸与資産の増加5,765百万円及び土地の増加1,097百万円、並びに商品及び製品の減少1,116百万円であります。

負債合計は、172,054百万円と、対前連結会計年度末比で109.6%、15,082百万円の増加となりました。主な要因は支払手形及び買掛金の増加1,028百万円、流動負債・その他に含まれる設備関係未払金の増加3,972百万円、長期借入金の増加6,668百万円及びリース債務の増加3,459百万円であります。

純資産合計は、145,360百万円と、対前連結会計年度末比で103.6%、5,071百万円の増加となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ5,144百万円増加して67,148百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、13,110百万円の収入(前年同期は14,714百万円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益10,483百万円その他、減価償却費17,018百万円、賃貸資産の取得による支出13,314百万円及び法人税等の支払額2,740百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、4,593百万円の支出(前年同期は2,243百万円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出3,927百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、3,472百万円の支出(前年同期は4,653百万円の支出)となりました。これは主に、長期借入れによる収入11,516百万円に対し、有利子負債の返済による支出11,819百万円及び配当金の支払額3,636百万円が上回ったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年11月10日に公表しました業績予想からの変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	62,203	67,348
受取手形、売掛金及び契約資産	44,241	43,832
商品及び製品	3,797	2,680
仕掛品	885	977
原材料及び貯蔵品	1,723	1,806
その他	11,250	17,992
貸倒引当金	△1,145	△1,155
流動資産合計	122,957	133,481
固定資産		
有形固定資産		
貸与資産(純額)	87,207	92,973
土地	37,053	38,150
その他(純額)	38,297	40,482
有形固定資産合計	162,558	171,606
無形固定資産		
のれん	627	486
その他	1,545	1,479
無形固定資産合計	2,172	1,966
投資その他の資産		
その他	9,867	10,669
貸倒引当金	△293	△307
投資その他の資産合計	9,573	10,361
固定資産合計	174,304	183,934
資産合計	297,261	317,415
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,784	27,813
短期借入金	5,290	5,432
1年内返済予定の長期借入金	12,710	12,317
リース債務	12,837	13,453
未払法人税等	3,029	3,742
賞与引当金	3,212	3,052
役員賞与引当金	235	143
その他	23,555	26,927
流動負債合計	87,655	92,882

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (2026年3月31日)
固定負債		
長期借入金	38,585	45,646
リース債務	26,841	29,685
役員退職慰労引当金	215	226
退職給付に係る負債	806	818
資産除去債務	1,206	1,269
その他	1,661	1,526
固定負債合計	69,316	79,172
負債合計	156,972	172,054
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,100	8,100
資本剰余金	6,672	6,674
利益剰余金	122,558	125,645
自己株式	△1,880	△1,878
株主資本合計	135,452	138,541
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	667	1,128
繰延ヘッジ損益	2	2
為替換算調整勘定	2,401	3,693
その他の包括利益累計額合計	3,071	4,824
新株予約権	10	10
非支配株主持分	1,754	1,983
純資産合計	140,289	145,360
負債純資産合計	297,261	317,415

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
売上高	111,543	107,888
売上原価	66,660	61,706
売上総利益	44,882	46,181
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	44	44
給料及び賞与	10,885	11,660
賞与引当金繰入額	2,792	2,928
役員賞与引当金繰入額	137	143
退職給付費用	402	481
役員退職慰労引当金繰入額	42	15
その他	19,156	20,342
販売費及び一般管理費合計	33,460	35,615
営業利益	11,421	10,565
営業外収益		
受取利息	48	54
受取配当金	7	6
為替差益	—	167
補助金収入	12	254
その他	668	527
営業外収益合計	737	1,010
営業外費用		
支払利息	846	1,013
為替差損	67	—
その他	51	32
営業外費用合計	966	1,045
経常利益	11,192	10,530
特別利益		
固定資産売却益	32	65
特別利益合計	32	65
特別損失		
固定資産除売却損	163	40
投資有価証券評価損	63	22
店舗閉鎖損失	—	49
特別損失合計	226	112
税金等調整前中間純利益	10,998	10,483
法人税、住民税及び事業税	3,596	3,739
法人税等調整額	13	△73
法人税等合計	3,609	3,665
中間純利益	7,388	6,817
非支配株主に帰属する中間純利益	91	94
親会社株主に帰属する中間純利益	7,297	6,723

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
中間純利益	7,388	6,817
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△59	460
繰延ヘッジ損益	18	—
為替換算調整勘定	△379	1,452
その他の包括利益合計	△420	1,913
中間包括利益	6,968	8,731
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	6,777	8,475
非支配株主に係る中間包括利益	191	255

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	10,998	10,483
減価償却費	16,955	17,018
のれん償却額	241	179
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△61	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△220	△165
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△79	△92
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	2	△1
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△55	11
受取利息及び受取配当金	△55	△61
支払利息	846	1,013
投資有価証券評価損益 (△は益)	63	22
固定資産除売却損益 (△は益)	131	△25
店舗閉鎖損失	—	49
賃貸資産の売却による原価振替高	497	983
賃貸資産の取得による支出	△10,590	△13,314
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,861	939
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△658	433
仕入債務の増減額 (△は減少)	7,058	968
その他	△2,778	△1,663
小計	19,433	16,778
利息及び配当金の受取額	56	50
利息の支払額	△837	△978
法人税等の支払額	△3,938	△2,740
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,714	13,110
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△210	△200
定期預金の払戻による収入	210	200
短期貸付金の増減額 (△は増加)	△5	△608
有形固定資産の取得による支出	△1,953	△3,927
有形固定資産の売却による収入	48	145
無形固定資産の取得による支出	△80	△60
投資有価証券の取得による支出	△1	—
長期貸付金の回収による収入	1	62
敷金及び保証金の差入による支出	△338	△361
敷金及び保証金の回収による収入	85	152
その他	0	5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,243	△4,593

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	15	501
長期借入れによる収入	10,900	11,516
長期借入金の返済による支出	△5,240	△5,838
社債の償還による支出	△664	—
リース債務の返済による支出	△6,112	△5,980
割賦債務の返済による支出	△7	—
配当金の支払額	△3,498	△3,636
非支配株主への配当金の支払額	△44	△33
その他	△1	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,653	△3,472
現金及び現金同等物に係る換算差額	△85	99
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	7,731	5,144
現金及び現金同等物の期首残高	49,612	62,003
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	91	—
現金及び現金同等物の中間期末残高	57,435	67,148

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告 セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	レンタル関連 事業				
売上高					
外部顧客への売上高	107,589	3,953	111,543	—	111,543
セグメント間の内部売上高 又は振替高	24	300	325	△325	—
計	107,614	4,254	111,868	△325	111,543
セグメント利益	10,892	306	11,199	222	11,421

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外製建機の輸入販売、
 鋸螺類の製造、建設工事用機械の製造、保険・不動産賃貸業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額222百万円には、セグメント間取引消去△5,456百万円及び各報告セグメン
 トに配分していない全社収益及び費用5,679百万円が含まれております。全社収益は、報告セグメン
 トに帰属しない収益であり、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費でありま
 す。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告 セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	中間連結 損益計算書 計上額 (注)3
	レンタル関連 事業				
売上高					
外部顧客への売上高	106,721	1,166	107,888	—	107,888
セグメント間の内部売上高 又は振替高	26	2,934	2,961	△2,961	—
計	106,747	4,101	110,849	△2,961	107,888
セグメント利益又は損失(△)	10,332	△15	10,316	249	10,565

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外製建機の輸入販売、建設工事用機械の製造、保険・不動産賃貸業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額249百万円には、セグメント間取引消去△5,204百万円及び各報告セグメントに配分していない全社収益及び費用5,453百万円が含まれております。全社収益は、報告セグメントに帰属しない収益であり、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。